

具体的な選抜方法と、資質・能力との関係【詳細】

看護学研究科(博士後期課程)では、一般入試を実施し、多様で特色のある背景を持つ人材の受け入れを目指しています。入学試験では、面接、英語資格・検定試験等のスコア、研究計画書、研究業績、最終学校成績証明書により、志願者の能力や資質を総合的に評価します。

一般入試

「基礎学力と論理的思考力・表現力」と「国際性・多様性」は、成績証明書と研究計画書の審査、研究業績、英語資格・検定試験等のスコアで評価する。「コミュニケーション力」と「社会的責任感・倫理観」および「科学的探究心・自己研鑽」、は、面接で評価する。これらにより、各資質・能力をバランス良く有している人材を選抜する。

2024年4月1日改正